

6月議会

一般質問、意見書採択で奮闘

「国保への国庫負担増額求める意見書」は全会一致で採択

党市会議員団は、市町村国民健康保険会計の総収入に占める国庫負担が20年間で半分以下に減らされていることから、「国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書」を提案し、全会一致で採択されました。また、福井県大飯原発の再稼働の決定前に議会の意思を示すべきとして、議会初日(6月15日)に「関西電力大飯原発3・4号機の再稼働に関して国に慎重な対応を求める意見書(案)」を提案。通常であれば最終日(7月6日)の採決が慣例ですが、議会運営委員会で初日の採決に向けて奮闘。採決ではこの間の「再稼働やめよ」の運動の広がりや賛成20反対20の同数となりましたが、議長(政新会)の「否」によって否決されました。

まつお・上田議員が一般質問

UR 借り上げ住宅延長へ国に支援求めよ



まつお正秀議員は、阪神大震災後にURから市が借り上げた市営住宅の期限が3年から5年と迫っている問題で質問。国会でも山下よしき参議院議員(日本共産党)が、「国は自治体からの要請があれば支援するとの立場」との国会答弁を引き出していることを紹介し、国に対して真剣に支援の交渉を行ない、住民の方が住み続けられる様に求めました。

また、市営住宅の一つの形態である特定公共賃貸住宅問題も取り上げ。所得が大幅に下がっても家賃が一定額以下に下がらない現状の改善を要望しました。

次にまつお議員は、市民農園の要望が強いことから市の遊休地の活用や、農家が開設する場合に何らかの支援策を設けるように要望しました。

盤滝トンネル無料化さらに前倒しを



上田さち子議員は、市議会として「早期無料化を求める決議」を採択し三年間前倒しされることになった盤滝トンネル問題を取り上げました。すでに約20億円も積み立てられた損失補てん金(内部留保金)は、未償還金返済に活用できると国

の見解が示されているとし、無料化をさらに前倒しにするためにも積極的に活用するように求めました。さらに、無料化の前に20億円もかけて大規模修繕しようとしていることについて、全国でも例がないことを指摘しました。

また、「公契約条例」の制定で市民サービスの仕事に携わる労働者の賃金などの労働条件引き上げと、保育所待機児童ゼロに全力を挙げるよう求めました。

新しい党議員団の役職と担当

◎杉山たかのり

党議員団団長
建設常任委員長

◎野口あけみ

党議員団幹事長
総務常任委員
議会運営委員
議会改革特別委員
国民健康保険運営協議会委員

◎上田さち子

市民文教常任委員
病院問題特別委員
社会福祉審議会委員
厚生常任委員
広報委員長
都市計画審議会委員
建設常任委員
農業委員

◎佐藤みち子

◎まつお正秀